

■資料選択基準

日本十進分類法新訂9版の各分野にしたがって、特に重点的に収集する主題とその留意点を述べる。

選定にあたっての一般的評価の基準は、著者（訳者、編集者、監修者等）、出版社（者）、造本・装丁、価格、内容、読者の要求等である。これらを総合的に判断し、収集する。

1 一般書

- (1) 中学生以上、一般成人を対象とし、市民の教養、調査研究、実用、趣味、娯楽等に必要資料を、各分野にわたり、幅広く体系的に収集する。
- (2) 各分野とも、基本的な入門書から、必要に応じて高度な専門書まで、さまざまな観点の資料を収集する。

総 記

この分野の資料の多くは、参考図書といわれる。通読する資料より調べる資料が多いので、あらゆる調査研究に速やかに対応できるよう、多岐、多種にわたる資料を収集し、改訂版や新編集の資料にも留意する。

（総記 000）

- ・ 情報科学、コンピュータに関する資料は、技術革新が著しいので、基本的なガイドブックから最新の技術、実用書まで収集する。
- ・ 最新の主要ソフトウェアや一般的なソフトウェアに関する資料を収集する。

（図書館、図書館学 010）

- ・ 図書館に関する資料は、調査研究の基本的資料として、公共図書館に関する資料はもとより、類縁機関のものまで幅広く収集する。
- ・ 読書案内、書評は、市民の読書活動や読書相談に役立つ資料を収集する。

（図書、書誌学 020）

- ・ 著作権に関するものは、図書館の業務上も不可欠であり、社会的にも関心が高いため、法改正に即応して収集する。
- ・ 編集に関するものは、自費出版物などの作成に役立つ資料を収集する。
- ・ 出版に関するものは、図書館や読書と関連の深いものを収集する。
- ・ 蔵書目録は、栃木県内のは館種にかかわらず網羅的に収集し、更新にも留意する。その他は閲覧、相互貸借の可能性も考慮し、必要に応じて収集する。

（百科事典 030）

- ・ 市民の各層が必要に応じて利用できるように、事項や記述が簡単で平易なものから多項目にわたって詳細な記述のものまで幅広く収集し、代表的な外国語のものも加える。
- ・ 最新の改訂版に留意し、必要に応じて収集する。
- ・ 必要と思われるものは、貸出のための複本を用意する。

(逐次刊行物 050)

- ・ 逐次刊行物そのものの選択基準は、別に定める。
- ・ 年鑑は、新聞社発行のものを中心に、継続的に収集する。
- ・ 各地域の年鑑は、関東周辺及び主要都市のものを収集し、特殊な主題の年鑑は、必要に応じて収集する。

(団体 060)

- ・ 各種団体の資料は、生涯学習の場の提供として役立つので、幅広く収集する。

(ジャーナリズム、新聞 070)

- ・ 社会的関心の高いものを収集する。
- ・ 新聞そのものの選択基準は、別に定める。

(叢書、全集、選集 080)

- ・ 叢書、全集は、代表的なものを継続的に収集する。

(貴重書、郷土資料、その他の特別コレクション 090)

- ・ 地域資料の選択基準は、別に定める。

哲 学

この分野の資料は、国内外の代表的な著作を中心に、基本的な資料から研究書まで体系的に収集し、学界の新しい動向や社会的関心に留意する。

(哲学 100)

- ・ 入門書、概説書を中心に研究書まで体系的に収集する。
- ・ 叢書、全集は、代表的なものを継続的に収集する。

(東洋思想 120)

- ・ 代表的な思想家の著作を中心に収集する。特に一般性が高く、利用の集中が予測されるものは、類書を含め、複本も考慮する。
- ・ 近代、現代の思想家にも留意する。

(西洋哲学 130)

- ・ 原典、哲学史、入門書、概説書、研究書を体系的に収集する。
- ・ 現代の新しい思想にも留意する。
- ・ 古典的名著は、新しい翻訳や新しい編集のものにも留意する。

(心理学 140)

- ・ 教育、医学などの分野との関連に留意し、一般性のあるものから研究書まで、幅広く収集する。
- ・ 占い、心霊研究等は、できるだけ科学的な記述のものを収集する。

(倫理学、道徳 150)

- ・ 基本的な資料を収集する。
- ・ 人生論、処世訓は、幅広く収集する。

(宗教 160～190)

- ・ 原典、宗教史、入門書、概説書、研究書を体系的に収集する。

- ・ 各宗教、各宗派の基本的なものを収集する。
- ・ 新興宗教や宗教批判も必要に応じて収集する。

歴 史

この分野の資料は、基本的な資料から研究書まで体系的に収集するとともに、さまざまな観点の資料を収集し、最新の資料、調査研究に役立つ資料にも留意する。

（歴史 200）

- ・ 歴史観、歴史理論に関する資料は、さまざまな学説があるので、多様な観点の資料を収集する。

（日本史 210）

- ・ 利用が多く要求の幅が広いので、入門書、概説書から研究書、専門書まで幅広く多様な観点の資料を収集する。
- ・ 日本史史料も基本的なものを収集し、近代以降の歴史は、写真集なども含め収集する。
- ・ 地方史に関するものは、歴史的伝統のある地域や主要都市、観光地等の資料を収集するが、それ以外に県別資料も収集し、資料の更新にも留意する。
- ・ 栃木県に関する資料については、地域資料として別に定める。他の地域の県史、市史、町史、村史等も必要に応じて収集する。

（各国・各地域の歴史 220～270）

- ・ 体系的な各国・各地域の歴史をはじめ、近代・現代の歴史、社会情勢の変化の著しい国の最新資料も収集する。

（伝記 280）

- ・ 資料的価値が高い伝記や、歴史の側面をうかがわせる人物史、人生論としても読める自伝などを収集する。
- ・ 人名辞典、人名録は、調査研究に役立つものを幅広く収集し、学習に役立つものにも留意する。

（地理・地誌・紀行 290）

- ・ 地名辞典は、調査研究に役立つものを幅広く収集し、学習に役立つものにも留意する。
- ・ 地図そのものの選択基準は、別に定める。
- ・ 地図帳、道路地図等は、最新のものに留意する。
- ・ 旅行のガイドブック、観光ガイドなどは、主要な地域のものや利用の多いものの最新の資料を豊富に収集し、必要に応じて複本とする。また、世界各国、日本全国の資料にも留意する。

社会科学

この分野の資料は、時事性、社会的関心、社会の動向に留意し、さまざまな観点の資料を各分野にわたり幅広く収集する。

(社会科学 300)

- ・ 時事性があるもの、社会的関心の高いものを中心に、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 著名な著者の個人全集や、代表的なものを体系的に収集する。
- ・ それぞれの社会思想の代表的な思想家の資料や時代を代表する資料を収集する。

(政治 310)

- ・ 時事性があるもの、社会的関心の高いものを中心に、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 議会の資料は、日本の議会に関するものをはじめ、各国のものまで収集する。
- ・ 政党、政治団体に関する資料は、公平に収集し、各国のものにも留意する。
- ・ 国家と個人に関するものは、さまざまな観点の資料に留意する。
- ・ 行政に関する資料は、政府刊行物を中心に、今日的資料を収集する。
- ・ 国家試験に関する資料は、定期的に更新する。
- ・ 地方自治に関する資料は、身近な問題を中心に、社会的関心の高いものを収集する。
- ・ 外交、国際問題にも留意する。

(法律 320)

- ・ 各分野の基本的な資料、主要な叢書、法令集、判例集等を幅広く体系的に収集する。
- ・ 市民の日常生活に密着した法律関係の実用書を収集し、法改正に即応する。
- ・ 憲法に関する資料は、世界各国の憲法の収集に留意するとともに、日本のものは、多様な観点の資料、平易な解説書から研究書まで幅広く収集する。
- ・ 行政法、民法、商法、刑法等は、入門書、概説書を体系的に収集するとともに、時事性、社会的関心の高いものにも留意する。
- ・ 犯罪、裁判に関するものは、社会的関心の高いものを収集する。

(経済 330)

- ・ 原典、入門書、概説書、研究書を体系的に幅広く収集する。
- ・ 経済学の新しい動向にも留意し、さまざまな観点の資料を収集する。
- ・ 経済史、経済事情に関する資料は、最新の情報に留意し、日本との関係の深い国のものも収集する。
- ・ 経済政策、国際経済に関する資料は、時事性、社会的関心に留意する。
- ・ 人口問題、資源問題は、時事性、社会的関心に留意するとともに、基礎的資料も収集する。
- ・ 経営学、経営、会計学、簿記に関する資料は、入門書、実用書を中心に、社会の動向に留意し、幅広く収集する。
- ・ 貨幣に関する資料は、趣味的なものばかりでなく、歴史的資料としても収集する。
- ・ 物価問題、金融、保険に関する資料は、世界の動向や時事性、社会的関心に留意し、入門書、概説書のほか、実用的な資料も収集する。

(財政 340)

- ・ 財政、租税に関する資料は、世界の動向や時事性、社会的関心に留意し、入門書、概説書のほか、実用的な資料も収集する。

(統計 350)

- ・ 基本的な統計資料を継続的に収集する。

(社会 360)

- ・ 時事性、社会的関心に留意し、入門書から研究書まで、さまざまな観点の資料を収集する。
- ・ 社会保険、年金に関する資料は、特に新しい実用書を収集する。
- ・ 住宅問題、余暇、消費者運動、労働問題に関する資料は、社会の新しい動向に即し、時事性、社会的関心に留意し、幅広く収集する。
- ・ 女性問題、家族関係、児童・青少年問題、老人問題等に関する資料は、時事性に留意し、さまざまな観点の資料を収集する。
- ・ 社会福祉に関する資料は、時事性、社会的関心に留意するとともに、基礎的資料も収集する。特に女性福祉、老人福祉、障害者福祉、ボランティア活動等の資料を幅広く収集する。

(教育 370)

- ・ 最新の資料に留意し、基本的な資料をはじめ、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 古典的名著や、主要な叢書、全集を収集する。
- ・ 教育学、教育思想に関する資料は、入門書から研究書まで体系的に収集し、特に教育心理学、児童心理、青年心理、教育論を収集する。
- ・ 教育政策は、現政策の経過資料に留意し、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 学校行事やPTAに関する資料は、幅広く収集する。
- ・ 幼児・初等・中等教育に関する資料は、社会的関心も高いので、時事性に留意し、用書を含め収集する。
- ・ 受験案内・学校案内は、総合的なものを継続的に収集する。
- ・ 障害児教育、点字・手話に関する資料を収集する。
- ・ 社会教育、家庭教育に関する資料は、最新の資料、さまざまな観点の資料を幅広く収集し、実用的な資料にも留意する。

(風俗習慣、民俗学、民族学 380)

- ・ 基本的なものから、新しい観点のものまで幅広く収集する。
- ・ 冠婚葬祭に関するものは、実用的な資料、新しい資料を幅広く収集し、類書も用意する。
- ・ 年中行事、伝説、民話、わらべうた、民族学等に関するものは、世界各国、日本全域にわたり体系的に収集する。

(国防、軍事 390)

- ・ 国防史、軍事史は、さまざまな観点の資料を収集する。
- ・ 国防政策は、時事性、社会的関心に留意する。

自然科学

この分野は、特に進展が著しいので、最新情報を収集するよう留意し、市民の生活に関連するもの、社会的関心の高いもので、一般の利用が見込める資料を中心に、必要に応じて専門書も収集し、入門書、概説書にも留意する。

(自然科学 400)

- ・ 基本的な科学理論や科学史は専門書も収集し、新しい観点から考察された資料にも留意する。

(数学 410)・(物理学 420)・(化学 430)・(天文学、宇宙科学 440)

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集し、青少年や一般の人にも利用される読物も用意する。

(地球科学、地学 450)

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集し、特に気象、地震、古生物学等、社会的関心が高い資料を幅広く収集する。

(生物科学、一般生物学 460)

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集し、進歩の著しいもの、社会的関心の高いものは、最新の情報に留意し、幅広く収集する。

(植物学 470)・(動物学 480)

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- ・ 図鑑類は利用が多いので、基本的なものから専門的なものまで幅広く収集し、必要に応じて貸出用の複本を用意する。
- ・ 個々の種別についての資料は、もれのないように留意する。
- ・ 写真やイラスト等による資料にも留意する。

(医学、薬学 490)

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- ・ 高度な専門書は、一般の利用が見込まれる資料についてのみ収集する。
- ・ 家庭医学との関連に留意して、実用的な資料を収集する。
- ・ 民間療法、健康法に関するものは、科学的根拠に基づいた資料を収集する。
- ・ 食品添加物、医薬品等、社会的関心の高いものは、幅広く収集する。

技 術

この分野は、特に革新が著しいので、最新情報を収集するよう留意し、市民の生活に関連するもの、社会的関心の高いもので、一般の利用が見込める資料を中心に、必要に応じて専門書も収集し、入門書、概説書にも留意する。

(技術、工学 500)

- ・ エネルギー問題、技術論に関する資料は、社会との関わりが深いので、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 特許・発明、模型工作に関する資料は、最新の実用的な資料を収集する。
- ・ 工業、工業経済に関する資料は、他の分野との関連に留意して収集する。

(建設工学、土木工学 510)

- ・ ごみ問題、都市計画、公害・環境問題に関する資料は、市民の生活に密接に関連し、時事性、社会的関心も高いので、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。

(建築学 520)

- ・ 日本の建築、世界の建築、公共建築に関する資料は、代表的な歴史的建造物の基礎的資料を収集するとともに、最新の資料にも留意する。
- ・ 商店建築、住宅建築に関する資料は、実用的な資料を中心に収集し、最新の資料を幅広く収集する。

(機械工学、原子工学 530)

- ・ 鉄道車両、自動車、航空に関する資料は、趣味や実用に役立つ資料を収集する。
- ・ 宇宙工学、宇宙開発に関する資料は、時事的、社会的関心の高いものを収集する。
- ・ 原子力開発、原子力産業、原子力行政に関する資料は、さまざまな観点の資料を収集し、最新の資料や社会的関心の高い資料に留意する。

(電気工学、電子工学 540)

- ・ 入門書から専門書まで幅広く収集する。
- ・ 通信工学、電気通信、電子工学に関する資料は、趣味や実用に役立つ資料を収集するとともに、最新の資料や社会的関心の高い資料に留意する。
- ・ 最新のコンピュータの主要ハードウェアや一般的なハードウェアに関する資料を収集する。

(海洋工学、船舶工学、兵器 550)

- ・ 兵器に関する資料は、他の分野との関連に留意し、社会的関心の高い資料を収集する。

(化学工業 570)

- ・ 合成洗剤、化粧品など、生活に密接に関連し、社会的関心の高い資料に留意する。

(製造工業 580)

- ・ 趣味や実用に役立つ資料を幅広く収集する。

(家政学、生活科学 590)

- ・ 趣味や実用に役立つ資料を収集するとともに、社会の動向にも留意する。
- ・ 日曜大工、住居、インテリアに関する資料を収集する。
- ・ 衣服、裁縫、手芸、理容、美容、料理に関する資料は、季節や流行に留意し、各主題にもれのないように、類書も含め幅広く収集する。
- ・ 家庭衛生、育児に関する資料は、他の分野との関連に留意し、幅広く収集する。

産 業

この分野は、社会科学との関連に留意し、市民の生活に密接に関連する資料を収集し、社会の動向にも留意する。

(産業 600)

- ・ 産業史は、過去の基本的な資料はもとより、新しい社会の動向にも留意する。

(農業 610)

- ・ 食料問題、農業問題に関する資料は、社会的関心の高い資料に留意し、幅広く収集する。

(園芸 620)

- ・ 趣味や実用に役立つ資料を幅広く収集する。
- ・ 種別のあるものは、もれのないように留意する。

(蚕糸業 630)

- ・ 小山市の代表的な産業であるので、網羅的に収集する。

(畜産業、獣医学 640)

- ・ ペットの飼い方は、趣味や実用に役立つ資料を幅広く収集する。
- ・ 種別のあるものは、もれのないように留意する。

(林業 650)・(水産業 660)

- ・ 森林保護、水産保護に関する資料は、時事的、社会的関心の高い資料に留意する。

(商業 670)

- ・ 商業政策、商業経営、広告に関する資料は、他の分野との関連に留意し、実務に役立つ資料を中心に収集する。
- ・ マーケティング、貿易に関する資料は、入門書、概説書を中心に収集し、実用的な資料にも留意する。

(運輸、交通 680)・(通信事業 690)

- ・ 交通事故に関する資料は、実用的な資料を中心に収集する。
- ・ 鉄道、観光、切手に関する資料は、趣味や実用に役立つ資料を収集し、歴史的な観点にも留意する。
- ・ 電気通信事業、放送事業に関する資料は、時事的、社会的関心の高い資料の収集に留意する。

芸 術

市民の趣味・娯楽から、鑑賞、研究、創作、実技などに役立つ資料を、幅広く収集し、社会の動向や市民の要求に留意する。

(芸術、美術 700)

- ・ 芸術理論、美術評論は、代表的な資料を収集し、新しい動向にも留意する。
- ・ 美術全集は、利用者の各層が利用できるよう、幅広く収集する。代表的作品は、各時代、各国、各芸術家にもれのないよう、また色彩にも留意する。きわめて高価なもの、特大版などは、利用との関連を考慮する。

(彫刻 710)・(絵画、書道 720)・(版画 730)

- ・ 作品集は、各分野や時代の代表的なものをもれなく収集する。
- ・ 作家研究、作品研究は、基本的な資料を収集する。
- ・ 制作技法に関する資料は、趣味としての初歩的なものから高等技術まで幅広く収集する。
- ・ 日本画・洋画の技法、レタリング、図案、書道等に関する資料は、幅広く収集する。

(写真、印刷 740)

- ・ 初心者から専門家まで趣味や実用に役立つ資料を収集し、機械や技法については、最新情報に留意する。
- ・ 写真集は、時代の代表的なものを収集する。

(工芸 750)

- ・ 作品集は、各分野や時代の代表的なものをもれなく収集する。

- ・ 技法については、趣味としての初歩的なものから高等技術まで幅広く収集する。
- ・ 陶芸、折紙、凧、人形に関するものは、十分な資料を収集し、新しい分野や技法にも留意する。

(音楽・舞踊 760)

- ・ 音楽史、各国の音楽・音楽家、音楽のジャンルについて、基本的な資料を体系的に収集し、もれのないように留意する。
- ・ 現代の音楽に関する資料にも留意する。
- ・ 舞踊、バレエに関する資料も、各ジャンルの基本的な資料を体系的に収集する。

(演劇・映画 770)

- ・ 各ジャンルの基本的な資料を体系的に収集する。
- ・ 時事的、社会的関心の高い資料に留意する。
- ・ 映画に関する資料は、日本映画、外国映画で公開されたものの資料を中心に幅広く収集する。

(スポーツ・体育 780)

- ・ 競技種目の各分野にわたり、基本的な資料をもれなく収集する。
- ・ 実技に関しては、入門書を中心に、指導書や専門的なものまで幅広く収集する。
- ・ ルールの改正や社会の動向にも留意し、利用の多いものは、十分な資料を収集する。

(諸芸・娯楽 790)

- ・ 茶道、華道等に関する資料は、流派に偏らず、入門書を中心に収集し、必要に応じて専門的な資料も収集する。
- ・ 囲碁、将棋、ダンス等は、基本的な資料を体系的に収集するとともに、社会の動向にも留意する。

言 語

市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集し、日本に滞在する外国人のための資料にも留意する。

(言語 800)

- ・ 言語学に関する基本的な資料を体系的に収集する。
- ・ 挨拶、スピーチ、会議法に関する資料は、実用的な資料を中心に収集する。

(日本語 810)

- ・ 日本語論に関する資料は、さまざまな観点の資料を幅広く収集する。
- ・ 辞典類は、国語辞典、漢和辞典等基本的なものはもれなく収集し、特に日常生活でよく利用されるものは、貸出用の複本や活字の大きいものを収集する。代表的な古辞書にも留意する。
- ・ 論文・手紙の書き方に関する資料を幅広く収集する。
- ・ 方言に関する資料は、入門書、概説書を中心に、全国的にもれのないように留意する。

(外国語・国際語 820～899)

- ・ 各国語の語学に関する資料は、○和辞典・和○辞典を幅広く収集する。

- ・ 文法書や会話に関する資料は、入門書をはじめ、旅行者・滞在者にも役立つ基本的な資料を収集する。
- ・ 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語等は、青少年や社会人まで利用できるように入門書や読み物（対訳を含む）から、必要に応じて専門書まで収集する。
- ・ 中国語、朝鮮語、韓国語、アジア諸言語の資料も収集する。
- ・ 言語人口の少ない言語の収集にも留意する。

文 学

各分野にわたり豊富な資料を収集する。

全集、作品集所載の作品でも、利用の多いものや、単行本のほうが利用しやすいものは、単行本や文庫本により複本としても収集する。

受賞作品や社会的関心の高い資料は、もれなく収集する。

（文学 900）

- ・ 文学全集は、手軽に読めるものから解説のあるものまで、翻訳や編集のきちんとしたものを体系的に収集し、著名な作品にもれのないように留意する。また、新しい流れにも留意する。
- ・ 児童文学に関する資料は、入門書から研究書まで幅広く収集する。

（日本文学 910）

- ・ 基本的な資料から必要に応じて専門的な資料まで幅広く収集する。
- ・ 近代、現代の作家研究、作品研究は、著名な作家、作品にもれのないように留意する。
- ・ 古典的名著はすべて収集し、解釈書は入門書から専門書まで幅広く収集する。
- ・ 各時代の代表的作品や、著名な作家の主要な全集・選集はもれなく収集し、現代の作品、作家にも留意する。
- ・ 特に、短歌、俳句、川柳、現代詩等は、実作者のための入門書、作法書を幅広く収集する。
- ・ 戯曲、シナリオは、映画、演劇、テレビとの関連に留意する。
- ・ 現代の小説やエッセイは、受賞作品や社会的関心が高いものを中心に収集する。
- ・ 日記、書簡、紀行、ルポルタージュは、時事的、社会的関心の高いものを中心に収集する。

（外国文学 920～999）

- ・ 各分野の基本的資料、著名な作品や作家の研究書を体系的に収集する。
- ・ 各時代の代表的作品や受賞作品、著名な作家の主要な全集・選集は、もれなく収集する。
- ・ 現代の作品、作家にも留意し、時事的、社会的関心の高い資料を収集する。

2 児童書

- (1) 0歳児から小学生までを対象とする。
- (2) 生涯を通じて本に親しむ習慣を養うことができるよう、本のすばらしさとの出会いの場を提供するために、ひとりひとりのこどもの発達段階にあった興味を引き出し、楽しく読書ができ、知識を高め、情操を養い、豊かな人間性を培うことができる資料を幅広く収集する。
- (3) 厳選された優れた資料を収集する。
- (4) 何年にもわたって読み継がれてきた評価の高い資料は、もれなく収集し、十分な複本を用意し、保存にも努める。また、利用の多い資料は、複本を用意する。
- (5) 学校教育における各教科との連携に留意し、教科の学習の展開をはかることのできる資料を収集し、必要に応じて成人向きの資料も収集する。
- (6) 各分野における収集上の主な留意点は、次のとおりである。

総 記

- ・ こどもが、個人またはグループで、宿題や自由研究に利用できるよう、学習百科事典を中心に、最新の資料を十分に収集する。
- ・ コンピュータ、図書館・博物館、読書感想文に関する資料、百科事典、年鑑を収集する。

哲 学

- ・ 哲学、宗教に関するわかりやすい資料を体系的に収集する。
- ・ こどもの家庭生活、学校生活上の悩みや、人生について考える資料を収集する。

歴 史

- ・ 写真、図版、図表等を効果的に使った資料を収集する。
- ・ 人名辞典、地名辞典等の参考図書を十分に収集する。
- ・ 日本史、世界史に関する資料は、年表、辞典をはじめ、各時代、各国にわたり、もれなく体系的に収集し、社会情勢の動向、最新の資料に留意する。
- ・ 伝記は、各分野にわたり、多くの人物について幅広く収集する。
- ・ 地理に関する資料は、日本各地、世界各国にわたり、もれなく体系的に収集し、最新の資料に留意する。
- ・ 旅行案内は、修学旅行に役立つ資料を中心に収集する。
- ・ 地図は、最新の地図帳を収集する。
- ・ 歴史物語、紀行、探検記等を収集する。

社会科学

- ・ 社会に対する見聞を広げ、見方を深める資料を体系的に収集する。
- ・ さまざまな観点の資料を幅広く収集し、社会の動向、最新の資料に留意する。
- ・ 日本と世界の政治、憲法や経済に関する資料、社会生活や福祉の身近な問題など、社会的関心の高いものを収集する。
- ・ 人権に関する資料、学校生活、風俗習慣、民話に関する資料を収集する。

自然科学

- ・ 科学的なものの見方、考え方を育てる資料を収集し、新しい見解、発見など、最新の資料に留意する。
- ・ 自然に親しみ、知識や関心を深める資料を収集する。
- ・ 写真、図版、図表等を効果的に使った資料を収集する。
- ・ 科学の歴史や科学者の伝記、科学クイズ等を収集する。
- ・ 植物図鑑、動物図鑑は、十分収集する。
- ・ 理科実験、自然観察、天体観測、植物採集、昆虫採集等に関する資料は、自由な研究に利用できる資料を収集する。
- ・ 地球科学に関する資料は、気象、地質、恐竜、化石等、幅広く収集する。
- ・ 生物・人類の歴史や動物の生態、人体のしくみ、健康等に関する資料は、基本的な資料を収集する。

技 術

- ・ 科学技術についてわかりやすく書かれ、こどもの知的好奇心を喚起する資料を収集し、最新の資料に留意する。
- ・ ごみ問題、公害、環境問題等、身近な問題に関する資料を収集する。
- ・ 工作、乗り物、手芸、料理等の趣味、娯楽や実用に役立つ資料を収集する。

産 業

- ・ 基本的な資料を体系的に収集し、新しい社会の動向にも留意する。
- ・ 草花の栽培法、動物の飼育法等に関する資料は、趣味、娯楽や実用に役立つ資料を収集する。

芸 術

- ・ 各分野にわたり、幅広く基本的な資料を体系的に収集する。
- ・ 代表的な芸術家やスポーツ選手の伝記を収集する。
- ・ 美術全集や作品集は、各分野や時代の代表的なものを収集する。
- ・ 彫刻、絵や図案、漫画、陶芸、折り紙、凧等に関する資料は、鑑賞や製作について、こどもに

わかりやすく書かれたものを幅広く収集し、利用の多いものは複本を用意する。

- ・ 音楽の歴史、楽器演奏法、合唱、童謡等に関する資料を収集する。
- ・ 学校演劇、人形劇、映画、落語等に関する資料を収集する。
- ・ スポーツ競技に関する資料は、各種目にわたり、基本的な資料を収集し、ルールの変更や新しい競技にも留意する。
- ・ 登山、キャンプ、釣り等、アウトドアスポーツに関する資料や、相撲、プロレス等の見るスポーツに関する資料も収集する。
- ・ 手品、囲碁、将棋、トランプ、あやとり、ゲーム等、娯楽に関する資料を収集する。

言 語

- ・ 言語生活を豊かにする資料を収集する。
- ・ 日本語を正しく読み、聞き、話し、書くために役立つ資料を幅広く収集する。
- ・ 国語辞典、漢和辞典を中心に、各種辞典を幅広く収集する。
- ・ 文字、ことわざ、文法、作文の書き方、方言等に関する資料を収集する。
- ・ 外国語に関する資料は、英語を中心に初歩的な資料、こどもが興味を持ち、国際理解に役立つ資料を収集する。

文 学

- ・ 各分野にわたり、年齢や発達段階に応じた豊富な資料を収集する。
- ・ 児童文学全集、文学全集は、日本や世界の代表的な作品、古典的名著を体系的に収集する。
- ・ 文学史、文学者の伝記に関する資料を収集する。
- ・ 短歌、俳句、詩等の鑑賞や作り方に関する資料を収集する。
- ・ 創作児童文学は、日本や世界の読み継がれてきた作品、受賞作品を中心に収集し、現代の作品にも留意する。
- ・ ノンフィクション作品は、生活記録、人生論の展開としても収集する。
- ・ 児童文学の研究書は、一般書として収集する。

絵 本

- ・ 年齢や発達段階に応じた豊富な資料を収集する。
- ・ 絵本作品として作られたもの、創作児童文学や民話、昔話等を絵本化したものを中心に、知識絵本、科学絵本等、さまざまな内容の絵本を収集する。
- ・ 小型絵本、大型絵本等さまざまな形態の絵本や、外国語の絵本等、多くの種類の絵本を収集する。

3 地域資料

小山市は、栃木県南部の中核都市として、古くから一つの文化圏を形成し、将来さらに大きく発展しようとしている。こうした郷土の特性を知り、後世に伝えるため、また調査研究、教養、生活情報に資するため、地域資料の収集を行う。

一般に、地域資料とは「特定の地域で刊行あるいは生産された、その地域に関して記述されている資料。図書、逐次刊行物、小冊子等の文献資料のほか、視聴覚資料、博物館資料など、その地域の事情を知り、研究する手掛かりとなるすべての資料」と定義されており、いわゆる郷土資料と行政資料を含むものである。

地域資料の収集にあたっては、このことをふまえ、次の方針に基づいて収集する。

(1) 地理上の収集範囲

- ア 小山市（歴史的に行政区画を共にした地域を含む）に関する資料は、網羅的に収集する。
- イ 栃木県（歴史的に行政区画を共にした地域を含む）全体を扱った資料は、小山市について、一部分でも書かれている場合は、網羅的に収集する。
- ウ 栃木県（歴史的に行政区画を共にした地域を含む）及び県下の市町村に関する資料は、総合的、基本的、代表的な資料を収集する。
- エ 北関東近県で、小山市と歴史、文化、産業等に密接な関連をもつ地域の資料は、関連の深い資料を収集する。

(2) 資料の内容

ア 郷土資料

- (ア)郷土の出身者、在住者、在住歴、在学歴、滞在歴のある人、または、深い関わりのあった人及び諸団体の著作。ただし小説等で郷土資料としてよりも、一般書・児童書として扱うのが適切な資料を除く。
- (イ)郷土の出身者、在住者、在住歴、在学歴、滞在歴のある人、または、深い関わりのあった人及び諸団体について扱った資料
- (ウ)郷土の自然、地理、生物及び歴史、民俗、生活、産業に関する資料
- (エ)郷土を主題または背景にした資料
- (オ)その他郷土資料として認められる資料

イ 行政資料

- (ア)郷土の官公庁、公共機関及び学校で発行された資料（統計書、報告書、記念誌（紙）、文集、機関誌（紙）、議会議事録、広報、公報、例規、要覧、自治体の予算書・決算書、地方行政や自治に関する資料等）
- (イ)郷土の官公庁、公共機関及び学校が開催した展覧会、講演会、研究会などの資料（図録、講演録、講義集、ポスター、チラシ等）

(3) 資料の形態

ア 印刷刊行物

- ・ 図書
 - ・ 雑誌、新聞、機関誌（紙）
 - ・ 切り抜き資料、複製資料
 - ・ ポスター、パンフレット、リーフレット
 - ・ 地図
 - ・ 楽譜
 - ・ かるた
 - ・ その他
- イ 視聴覚資料
- ・ ビデオテープ、映画フィルム、DVD
 - ・ 録音テープ、レコード、CD
 - ・ 紙芝居
 - ・ その他
- ウ その他地域資料として認められる資料

(4) 収集の留意点

- ア 資料は、原則として保存用を含め複数収集する。利用の多いもの、基本的なもの、一般性の高いものは、貸出用複本を用意する。
- イ 入手困難なものについては、必要に応じて著作権の範囲において自館で複製する。
- ウ 発行の状況を常に把握するよう努め、市民及び関係機関に、資料に関する情報の提供を依頼し、収集する。
- エ 市民及び関係機関に、自費出版、手持ちの資料等の寄贈を依頼し、収集する。

4 青少年資料

おおむね小学校高学年から中学生・高校生等、十代のこどもたちを対象とする。

この年代は、成長発達の個人差が著しく、児童書では飽き足りない一方、一般書には親しめず、知的欲求を満たす資料との出会いが難しいため、活字ばなれ、図書館ばなれの傾向が見られる。

小さい頃に身につけた読書習慣を継続し、図書館が楽しく、役に立ち、魅力的な場を提供できるよう、この世代が興味を持ちやすい、今日的な生活情報を中心に、最新の情報・資料を収集する。

また、若い知性や感性に応える作品、青少年に長く読み継がれている作品、青少年を主人公とした作品、友情や人生や将来について考える作品を収集し、青少年のための資料群を特に構成する。

青少年資料の収集にあたっては、利用状況や、最新の社会動向に柔軟に対処し、新鮮で魅力ある資料群の構成を工夫する。

資料群は、図書、雑誌を中心に、活字以外のメディアのものにも留意し、一般書、児童書、

青少年向き資料等から、幅広く収集する。

(1) 図書

収集の基本方針は、「一般書」並びに「児童書」に準じるが、特にこの世代が興味を持ちやすい形態、内容の資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

ア 収集の基本方針は、「逐次刊行物」に準じるが、特に若い世代に愛読されている雑誌を収集する。

イ ミニコミ誌（紙）、サークル誌（紙）、生徒会機関誌（紙）、同人誌等の収集に留意する。

(3) 視聴覚資料

収集の基本方針は、「視聴覚資料」に準じるが、特に若い世代に愛好されているものを収集する。

(4) その他

ポスター、パンフレット、リーフレット等、地域や学校の催し物、同好会の案内等の資料の収集に留意し、情報を収集する。

5 視聴覚資料

情報社会の発展にともない、活字以外のメディアの重要性が高まっており、これらに対する市民の要求に応えるため、視聴覚資料を積極的に収集する。

最新の機器や製品、社会の動向や市民の要求等を総合的に判断し、時代を担う図書館として、市民の役に立ち、新しく魅力的な資料を幅広く収集する。

(1) 音声資料

ア 収集する資料の種類

(ア)CDは、摩耗が少なく、音質が優れており、図書館資料として適しているので、積極的に収集する。

(イ)レコード・カセットテープは、原則として収集しない。

イ 収集するジャンル

(ア)以下に述べる各ジャンルの代表的な作品を収集する。

音楽資料

- ・ クラシック
- ・ ポピュラー
- ・ イージー・リスニング
- ・ 邦楽

- ・ 民謡
- ・ 唱歌・童謡
- ・ 歌謡曲

一般資料

- ・ 文芸
- ・ 演芸
- ・ 効果音
- ・ 教材
- ・ 童話・アニメーション
- ・ 記録

(イ)最新の作品は、社会的評価に十分留意する。

ウ その他の資料

- ・ 社会的関心が高いもの
- ・ 記録的価値が高いもの
- ・ 教育的価値が高いもの
- ・ 実用性が高いもの

(2) 映像資料

ア 収集する資料の種類

(ア)著作権者に、個人貸出または上映の許諾を得たものを収集する。

(イ)DVDは、磨耗が少なく、画質が優れており、図書館資料として適しているので、積極的に収集する。

(ウ)LDは、原則として収集しない。

イ 収集するジャンル

(ア)劇映画、記録映画、アニメーション

- ・ 日本及び世界の主要な映画作品の代表的作品を収集する。
- ・ 各種の映画祭、コンクールの受賞作品、雑誌等で高く評価された作品、話題作品を収集する。
- ・ 最新の作品は、社会的評価に十分留意する。

(イ)音楽

- ・ 日本及び世界の主要な作曲家、演奏家、歌手等の作品を収集する。

(ウ)芸能

- ・ 能、狂言、歌舞伎、落語、漫才等の日本古典芸能及び世界各地の伝統芸能の代表的な資料を収集する。

(エ)スポーツ

- ・ さまざまなスポーツの鑑賞や技術習得に役立つ資料を収集する。

(オ)生活・実用

- ・ 日曜大工、料理、インテリア、健康、育児等の生活・実用に役立つ資料を収集する。

(カ)教養

- ・ 歴史、文化、美術等の鑑賞や学習に適した資料を収集する。

(キ)郷土

- ・ 栃木県、小山市の歴史・文化・現況等を収録した、地域資料として必要な資料を収集する。

(ク)その他

- ・ 社会的関心が高いもの
- ・ 記録的価値が高いもの
- ・ 教育的価値が高いもの
- ・ 実用性が高いもの

(3) 紙芝居

- ア 収集の基本方針は、「児童書」に準じる。
- イ 図書では得られない、紙芝居の形態やその特性が活かされているものを収集する。
- ウ 優れたものは、複数用意する。

(4) その他

- 一枚ものの絵画、ポスター、写真等は、社会の動向に留意し、必要に応じて収集する。

6 障がい者サービス資料

目や耳が不自由な人や、身体が不自由で図書館を利用できない市民に対するサービスのために、必要な資料を収集する。

全国の障がい者サービスの主要機関の目録や情報にも留意する。

(1) 視覚障がいのある人に対する資料

- ア 大活字本、点字図書、カセットテープ等出版されている資料については、「一般書」、「児童書」、「視聴覚資料」、「逐次刊行物」等の選択基準に準じて収集する。
- イ 利用者の希望によって作成する点訳資料（図書、雑誌、新聞、その他）、朗読テープ（視覚障害者の利用のため著作権者の許諾を得たもの）、拡大写本、さわる絵本等は、利用者の希望を優先し、収集する。

(2) 聴覚障がいのある人に対する資料

- 字幕入り（手話付き）ビデオテープ等を利用者の希望を優先し、収集する。

(3) 身体に障がいがあり、来館が困難な人に対する資料

- 上記(1)の朗読テープを除き、すべての資料を利用に供することができるので、「資料選択基準」に準じて収集する。

7 逐次刊行物

年鑑、白書、統計等、年次的に出版されるものは、原則として一般書として収集する。
地域資料となりうる資料は、網羅的に収集する。

(1) 雑誌

- ア 雑誌は、最新の情報を速やかに提供できるものとして、市民の社会生活、文化生活の上で不可欠なものとなっているので、あらゆる年齢層やあらゆる職業の人に対し、趣味、娯楽や教養、学習のみならず、仕事や専門の調査研究にも役立つものを、幅広く収集する。
- イ 原則として国内の出版物とし、各分野にわたり、基本的な雑誌を中心によく利用される雑誌を豊富に収集する。
- ウ 社会の動向、出版の傾向や市民の変化に留意し、新鮮で魅力的な雑誌を収集する。
- エ 毎年、利用傾向等をもとに見直しを計る。基本となる雑誌は、経年的に収集し、娯楽的なものや、類似のものが多い雑誌は、利用状況によって弾力的に対応する。
- オ 外国語習得のための雑誌や、在日外国人のための雑誌も必要に応じて収集する。
- カ 利用の多い雑誌は、複数の館で用意する。
- キ 中央館、分館、移動図書館、公民館図書室、配本所の収集分担や保存年限については、別に定める。

(2) 新聞

- ア 利用の多い新聞は、複数の館で用意する。
- イ 国内発行の日刊全国紙を中心に収集する。
- ウ 収集する主な新聞の種類は、次のとおりである。
 - ・ 一般全国紙
 - ・ 地域で発行された新聞
 - ・ 経済紙
 - ・ スポーツ紙
 - ・ こども向け新聞
 - ・ 英字新聞
 - ・ 読書新聞
 - ・ 政党機関紙
 - ・ その他必要な機関紙
 - ・ 広報紙
 - ・ 専門紙
- エ 縮刷版は、主要なものを収集する。
- オ マイクロフィルム、CD-ROM等を必要に応じて収集する。

8 その他の資料

(1) 地図

ア 世界地図、日本全国の地図、分県地図、世界並びに日本の主要都市、主要観光地の市街地図、観光地図、道路地図は、最新版を定期的に収集する。

イ 地形図は、国土地理院の5万分の1地形図をすべて収集し、他の大きさの地形図は、必要に応じて収集する。

(2) 電話帳

全国すべての最新版を収集する。

(3) パンフレット、リーフレット

最新の情報として必要なものを収集する。

(4) 電子メディア

調査相談のためのツールとして、参考図書などの必要なCD-ROM等を収集する。

(5) その他

図書館資料として、今日一般的でないものや、新しい媒体については、社会の進展や動向、市民の潜在的な要求をみながら、随時収集を検討する。